



5 月 定 例 記 者 会 見 ・ 次 第

日 時 平成 30 年 4 月 27 日(金)10 時 00 分～
場 所 塩竈市役所 2 階会議室

— 説 明 項 目 —

市民総務部

1. 塩竈市就職セミナー - “まちを創る“という選択肢！- 「塩竈市”しごと“説明会」開催！
[総務課(355-5056)]..... 1P
2. 第 5 次長期総合計画進捗報告会～「おいしさと笑顔がつどう みなとまち 塩竈」をめざして～
[政策課(355-5631)]..... 2P

健康福祉部

3. こころん職員がおじゃまします！巡回子育て「ほほえみ広場」[子育て支援課(353-7797)] 3P
4. 塩竈市国民健康保険第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画の策定について
[保険年金課(355-6497)] 4P

産業環境部

5. 塩竈市観光振興ビジョンの実現に向け動き出しました[観光交流課(364-1165)]..... 5P

教育委員会教育部

6. 小学生が浦戸寒風沢島で田植え体験 ～浦戸小学校～[浦戸小中学校(369-2008)]..... 6P
7. まちのきおくをあつめる、かたる 小野幹・写真展「昭和のしおがま」
[塩竈市杉村惇美術館(369-2008)]..... 7P

— 資 料 提 供 項 目 —

1. 5 月の日程.....[市民総務部政策課(355-5764)]
2. 平成 30 年度「民生委員・児童委員の日活動強化週間」.....[健康福祉部生活福祉課(364-1131)]
3. 介護保険高齢者支援ガイドブックについて.....[健康福祉部長寿社会課(364-1204)]
4. スマイル通信 5 月号.....[産業環境部観光交流課(364-1165)]
5. しおがま“何でも”体感団～しおがまの歴史・文化・産業・自然・食材にふれよう～
.....[教育部生涯学習課(362-2556)]
6. 遊ホールイベント情報.....[市民交流センター(365-5000)]
- 「未来を創る」塩竈市教育委員会 News(第 12 号).....[教育部教育総務課(362-7744)]
- 公民館だより WAY・エスプ KID'S.....[生涯学習センター(367-2010)]
- 本の杜・プクちゃんつうしん・しおかぜ・話題の本棚.....[市民図書館(365-4343)]

— “まちを創る” という選択肢！ — 塩竈市「しごと」説明会を開催！

「塩竈市役所で働きたい！」「塩竈のまち創りにチャレンジしてみたい！」
そんな夢と希望を抱く皆さんに、今年度の職員採用試験の実施にあたり、塩竈市「しごと」説明会を開催します！

塩竈のまちの魅力や、市役所の「しごと」のやりがい等を先輩職員も参加する中で、熱く語り合う絶好のチャンスです！

ぜひ、お気軽にご参加ください！

貴方の“未来の選択”はここにあります！



- ◆日 時 5月23日(水) 午後1時30分 ～ 午後3時
(※オプションツアー参加者は午後4時30分解散予定)
- ◆場 所 塩竈市魚市場中央棟2階大会議室
(※現地集合 なおJR仙石線東塩釜駅から会場までシャトルバス運行予定)
- ◆対象者 平成30年度塩竈市職員採用試験（上級事務）を受験予定の方
(※説明会の定員は50名（申込先着）／オプションツアーは20名)

—「しごと」説明会の内容— 『一生モノの仕事あり❑！』

【第1部】塩竈市役所の「しごと」の魅力

塩竈のまちの魅力や、バラエティに富んだ市役所の「しごと」の内容についてお話しします！

【第2部】先輩職員と話し合おう！

職員としての「しごと」の1日や、まち創りの魅力、苦労話などをフリートーク！

【オプションツアー】塩竈の魅力探訪！

塩竈のまちの魅力やまち創りの現状を感じることができるまち巡りツアー！



— 参加申し込みは —

- 【受付期間】 5月1日(火)～11日(金)／8：00～17：15
- 【申込方法】 下記あてに電話または直接来所にて申込
- 【問い合わせ】 塩竈市市民総務部総務課人事給与係
〒985-8501 塩竈市旭町1-1
☎022-355-5056



第 5 次塩竈市長期総合計画 進捗報告会

～「おいしさと笑顔がつどう みなとまち 塩竈」をめざして～

平成 30 年度は『第 5 次塩竈市長期総合計画』の最終 3 か年のスタートの年度となります。
進捗報告会では、本計画の進捗状況等について、計画策定に関わっていただいた審議会及び市民懇談会委員の皆様へ報告し、ご意見をいただきます。いただいたご意見は、今後の事業実施に反映させ、計画の確実な推進につなげてまいります。
なお、報告会は一般の方も傍聴していただけます。

＜第 5 次塩竈市長期総合計画全体像＞

◇ 日 時

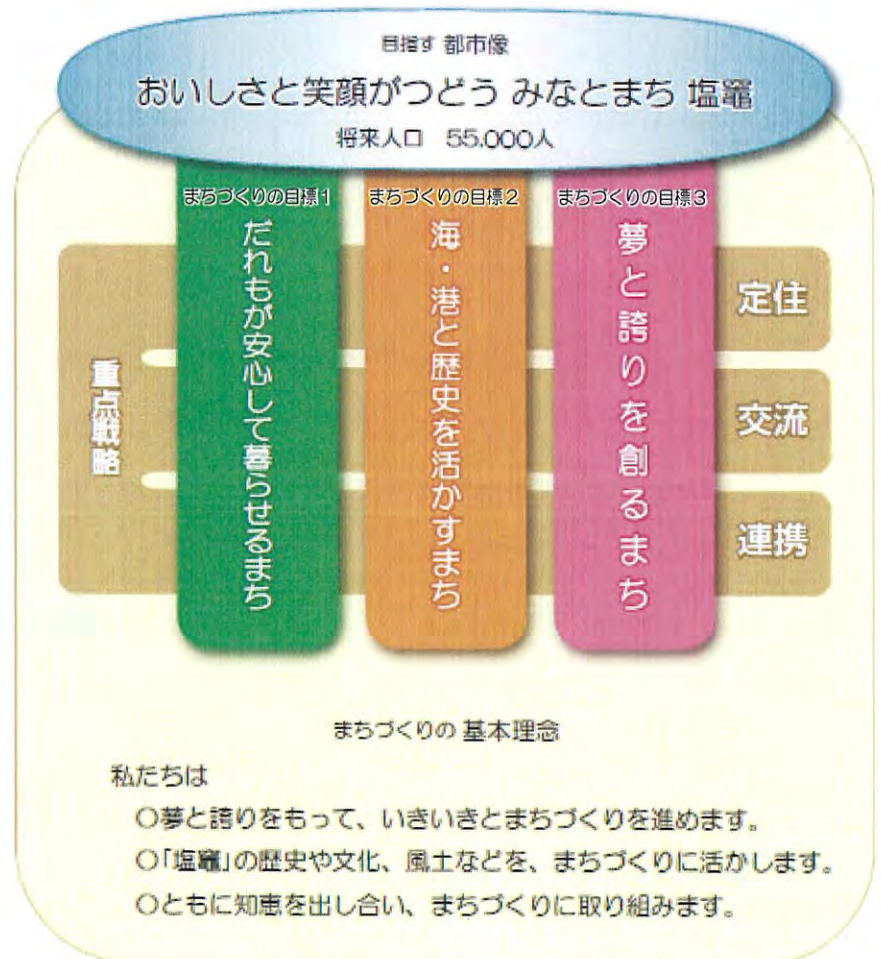
平成 30 年 6 月 10 日（日）
14:00～16:30

◇ 場 所

ふれあいエスプ塩竈
エスプホール

◇ 概 要

- ・長期総合計画で設定した「代表的な指標」の推移についての報告
- ・長期総合計画主要事業についての説明と評価 他



◆ 駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください ◆

＜問合せ＞ 塩竈市 市民総務部 政策課 企画係 電話：022-355-5631

今年度は5月14日(月)からスタート



巡回子育て ほほえみ広場

子育て支援センター「こころん」では、地域に根差した子育て支援を行うために、巡回子育て「ほほえみ広場」を開催しています

☆子育て中のママ、お孫さん連れのおじいちゃん、おばあちゃんの交流の場となっています

☆「子どもの発達が心配」「関わり方が分からない」などの子育ての悩みにお答えします

☆毎回、季節の手作り製作（今年度はカレンダー）、体操を行っています

☆申し込みは不要です



歩いて行ける「こころん」です

地域の集会所を会場に、アットホームな雰囲気でお子をお迎えします

ひとりで子育てに悩んでいるママ、パパはお子さんを連れて遊びに来てください



☆日時・会場

	大日向集会所	楓町集会所	千賀の台集会所	牛生集会所	新清水沢集会所
5月	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
7月	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)
9月	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
11月	5日(月)	6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)
2月	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)

※時間：10:30～12:00

担当：しおがま子育て支援センター（TEL363-3630）



健康福祉部子育て支援課

事業紹介

平成25年8月にリニューアルオープンした子育て支援センター「ココろん」は、昨年度約12,000人の利用がありました。親子が自由に遊べる場、子育て仲間との出会いの場として自由開放をしています。また、育児不安等の相談には保育士・看護師の資格を持つ職員が丁寧に対応しています。

イベント「あそびの広場」を毎月開催

毎年人気の
ハロウィン
(10月)



地域を出張巡回「ほほえみ広場」



市内5か所の
集会所で育児
相談、親子遊
びを紹介

市営梅の宮住宅集会所(字庚塚1-1)では「つどいの広場」を実施しています
毎週月・水・金曜日 10:00~15:00
遊び場の自由開放や育児相談をしています。毎月「あそびの広場」も開催中

12時~13時
はランチタイ
ム。ママ達の
情報交換の場
です



水曜午前は0
歳限定のベビ
ーちゃんの日

□平成30年度「あそびの広場(10:30~11:30)」(申し込みが必要)

	ココろん		つどいの広場	
4月	19日(木)	パネルシアター	20日(金)	パネルシアター
5月	22日(火)	びっくり箱 製作・お話し	25日(金)	さんぽ
6月	19日(火)	チャイルドヨガ	27日(水)	ベビーヨガ
7月	19日(木)	ひまわりの会 お話し	6日(金)	七夕会
8月	23日(木)	梅っこ座 人形劇	27日(月)	水遊び(すいか割)
9月	11日(火)	親子体操	21日(金)	さんぽ
10月	25日(木)	ハロウィン	24日(水)	0歳児のママ会
11月	20日(火)	ロディヨガ	21日(水)	わらべ歌
12月	13日(木)	クリスマスお楽しみ会「ハルズ」コンサート	14日(金)	1歳児のママ会
1月	24日(木)	鬼の面作り	25日(金)	2歳以上のママ会
2月	21日(木)	おはなし「ぱんどら」お話し	22日(金)	ひな人形作り
3月			15日(金)	さんぽ

□平成30年度「ほほえみ広場(10:30~12:00)」(申し込みは不要)

	大日向集会所	楓町集会所	千賀の台集会所	牛生集会所	新清水沢集会所
5月	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
7月	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)
9月	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
11月	5日(月)	6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)
2月	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)

■問い合わせ先■ しおがま子育て支援センター TEL 363-3630
《開館時間》9:30~16:00 《休館日》祝日、年末年始、第三水曜日の午後

塩竈市国民健康保険第2期データヘルス計画・ 第3期特定健康診査等実施計画の策定について

近年、高齢化の急速な進展などに伴い、五大疾病とされるがん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患等の生活習慣病が増加するとともに医療費が増大しています。

こうした課題点を踏まえ、このたび、いつまでも健やかに暮らしていける地域づくりに貢献し、被保険者の健康づくりを支援するとともに、医療費の適正化を目指すために、「塩竈市国民健康保険第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画」を策定しました。

1 計画期間

平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

2 塩竈市国民健康保険の特性

塩竈市国民健康保険の加入率は年々減少しており、被保険者の平均年齢は年々上昇しています。また、一人当たり医療費は、県や国と比べると高くなっています。

3 保健事業

塩竈市国民健康保険の医療費データを分析し、健康課題に合わせた下記の8事業を実施します。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ●特定健康診査事業 | ●特定保健指導事業 |
| ●特定健康診査未受診者対策事業 | ●がん検診事業（国保助成事業） |
| ●人間ドック・脳ドック費用助成事業 | ●糖尿病性腎症重症化予防事業 |
| ●受診行動適正化指導、薬剤併用禁忌防止事業 | ●ジェネリック医薬品差額通知事業 |

4 計画の評価と見直し

本計画の目的及び目標の達成状況は、PDCAサイクルのプロセスに沿って、毎年度評価を行います。

問い合わせ先：
健康福祉部保険年金課保険総務係
TEL：022-355-6497

**塩竈市国民健康保険
第2期データヘルス計画
第3期特定健康診査等実施計画**

【概要版】

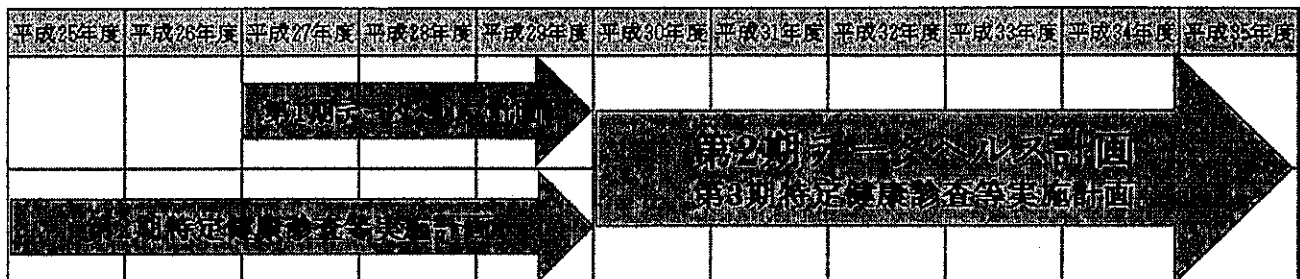
近年、高齢化の急速な進展などに伴い、五大疾病とされるがん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患等の生活習慣病が増加するとともに医療費が増大しています。また、薬剤費の増加も医療費をより増大させています。

そこで、「高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)」に基づき、平成20年度から医療保険者は、特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられ、また、「日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)」において、データヘルス計画の策定が求められることとなりました。

こうした背景を踏まえ、塩竈市国民健康保険(以下「塩竈市国保」といいます。)では、第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画を策定しました。この計画に基づき、いつまでも健やかに暮らしていける地域づくりに貢献し、被保険者の健康づくりを支援するとともに、医療費の適正化を目指します。

1 計画期間

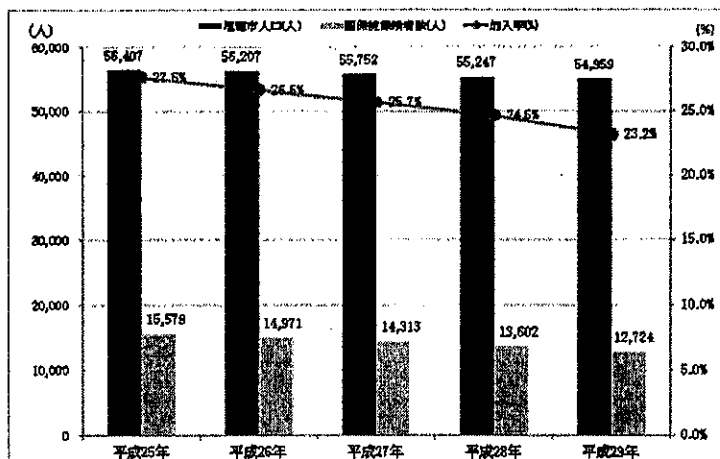
平成30年度から平成35年度までの6年間とします。



2 塩竈市国保の特性把握

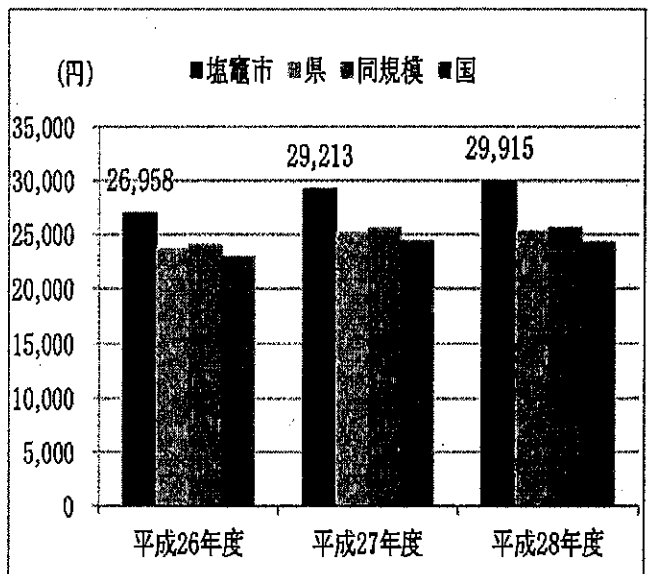
塩竈市国保の加入率は年々減少しており、被保険者の平均年齢は年々上昇しています。また、一人当たり医療費は、県や国と比べると高くなっています。

年別 人口、被保険者数、加入率(各年4月1日現在)



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
国保被保険者平均年齢	51.0歳	51.6歳	52.1歳	52.9歳	53.7歳

年度別 一人当たり医療費(月平均)



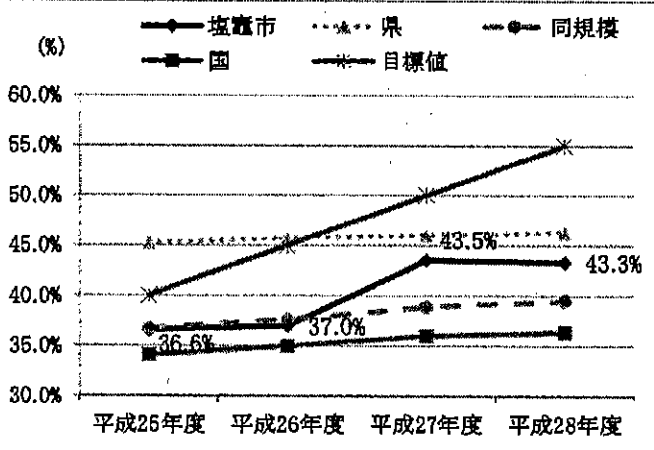
3 塩竈市国保の健康課題とその対策事業

◆特定健康診査受診率・特定保健指導実施率

生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額です。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に対する特定保健指導の実施率を上げ、生活習慣病を予防する必要があります。

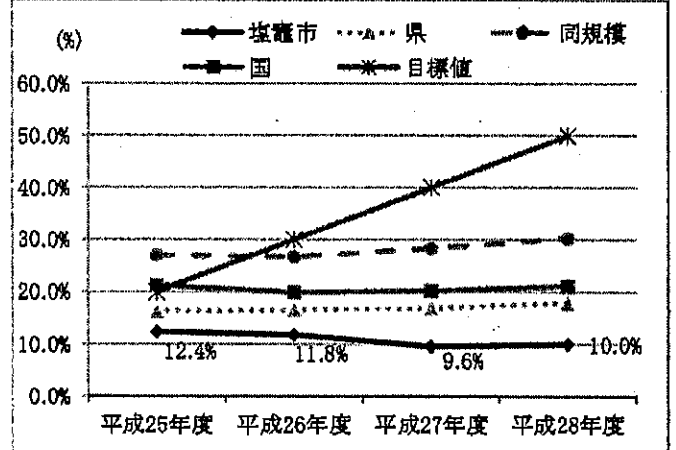
特定健康診査事業、特定保健指導事業
特定健康診査未受診者対策事業
人間ドック・脳ドック費用助成事業

年度別 特定健康診査受診率



※受診率は対象者のうち特定健康診査を受診した率です。

年度別 特定保健指導実施率



※実施率は対象者のうち特定保健指導を受け、終了した率です。

がん検診事業(国保助成事業)
人間ドック・脳ドック費用助成事業

◆悪性新生物(がん)

医療費が高い疾病として悪性新生物(がん)があげられます。各種がん検診を行い、がんの早期発見、早期治療を行うことにより悪化を防ぎ、医療費の抑制ができると考えます。

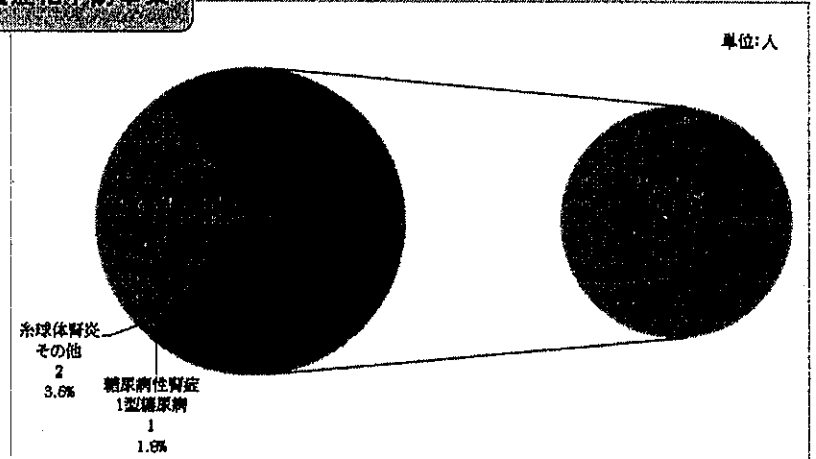
医療費が高い疾病(疾病中分類別)		医療費	患者数
1位	糖尿病	261,729,290円	3,633人
2位	高血圧性疾患	254,889,884円	4,576人
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	244,035,413円	1,415人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)

糖尿病性腎症重症化予防事業

◆糖尿病性腎症

起因が明らかとなった人工透析患者のうち、69.1%が生活習慣病を起因とするものであり、また、糖尿病を起因として透析となる糖尿病性腎症であることが分かりました。そこで、早期に保健指導を行い、生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考えます。



受診行動適正化指導事業

◆重複・頻回受診者、重複服薬者

重複・頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。

重複受診者	92人
頻回受診者	164人
重複服薬者	315人

重複受診者…1か月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人

頻回受診者…1か月間に同一医療機関に12回以上受診している人

重複服薬者…1か月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)

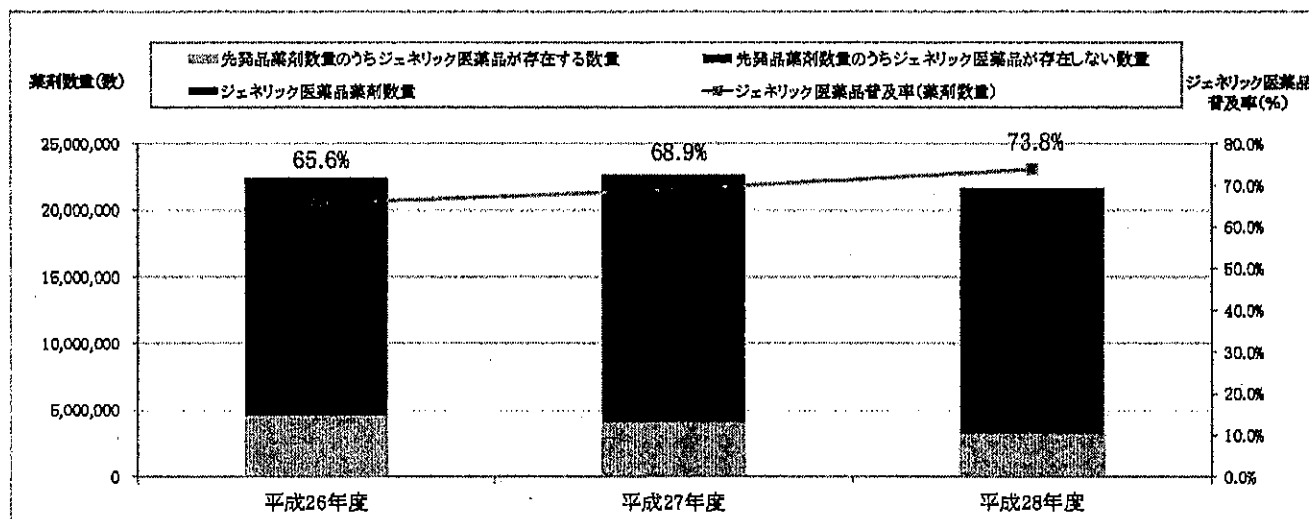
※期間中の実人数

ジェネリック医薬品差額通知事業

◆ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品の普及率は年々上昇しています。国が定める目標(平成32年9月までに80%以上)を達成するため、さらなる切り替え勧奨を行う必要があります。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



薬剤併用禁忌防止事業

◆薬剤併用禁忌

多数の薬剤併用禁忌対象者が存在します。薬剤の相互作用から、効果が過剰に増大または減退する可能性があり、さらに副作用により患者に重大な影響を与える可能性があります。お薬手帳の活用を促し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止します。

薬剤併用禁忌対象者	299人
-----------	------

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)

※期間中の実人数

4 これからの保健事業

塩竈市国保の健康課題を踏まえ、これから実施する保健事業は次のとおりです。

●特定健康診査事業

メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病の予防を行うため、40歳から74歳の人を対象とし、特定健康診査を実施します。

3/1/15

さらなる受診率向上のため、引き続き特定健康診査の重要性についての広報を行うとともに、検査項目の充実に努めます。

(平成28年度：健診受診率 43.3% 目標：健診受診率 60%)

●特定保健指導事業

生活習慣病該当者及び予備群の減少のため、特定健康診査・人間ドックの結果から対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるよう、専門職により面接指導と電話指導を行います。

2/1/15

健康講座・健康づくり教室等の周知・普及を通して健康意識の向上に努め、特定保健指導対象者の減少を目指します。

(平成28年度：指導実施率 10.1% 目標：指導実施率 25%)

●特定健康診査未受診者対策事業

特定健康診査の受診率を向上するため、特定健康診査(集団健診)を受診していない人を対象とした、追加健診(個別健診)を実施します。

3/1/15

引き続き同封チラシの内容精査や追加健診の実施期間等の見直しを行い、特定健康診査の受診を促します。

(平成28年度：健診受診率 43.3% 目標：健診受診率 60%)

●がん検診事業(国保助成事業)

がん検診の受診率向上、二次予防の促進、がんに対する理解と検診の重要性について普及啓発を行うため、各種がん検診の受診勧奨、自己負担額の助成、精密検査受診の個別勧奨などを行います。

3/1/15

より検診を受けやすいよう、検診方法の検討を行います。また、がんの早期発見の大切さについての講演会や広報等、がん検診の重要性について啓発に努めます。

(平成28年度：検診最高受診率(胃がん) 54.3% 目標：各種検診受診率 70%以上)

平成28年度：精密検査最高受診率(肺がん) 93.1% 目標：精密検査受診率 100%)

●人間ドック・脳ドック費用助成事業

特定健康診査・がん検診受診率の向上、異常の早期発見を行うため、40, 45, 50, 55, 60歳の人を対象とし、人間ドック・脳ドック費用の助成を行います。

3/1/15

若い世代の受診率が低い状態です。健診の必要性及び費用助成等の広報、申込期間の延長等の取り組みを行います。

(平成28年度：人間ドック受診率 28.1% 目標：人間ドック受診率 35%)

平成28年度：脳ドック受診率 26.5% 目標：脳ドック受診率 30%)

●糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病性腎症患者の病期進行を阻止するため、特定健康診査の結果とレセプトデータから対象者を特定し、医療管理のない人に対し、医療機関への受診勧奨を行います。また、正しい生活習慣が身につけられるよう、専門職により概ね6か月間の面接指導と電話指導を行います。

37013

かかりつけ医との連携を強固にし、指導実施率を向上させ、指導終了後もフォローアップを行い重症化阻止に努めます。また、糖尿病の重大な合併症の一つとして歯周病があげられることから、歯周病に対する事業の拡大、取り組み強化を図ります。

(平成28年度：指導実施率 6.4% 目標：指導実施率 15%以上)

●受診行動適正化指導、薬剤併用禁忌防止事業

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少、薬剤併用禁忌の発生件数減少のため、対象者に専門職による指導を行います。また、お薬手帳の活用を促し、適正な医療のかかり方について広報を行います。

37014

重複・頻回受診者、重複服薬者に対し、適正な医療のかかり方についてのパンフレットを送付します。その中でも特に注意が必要な人に対し、専門職による指導を行います。

(平成28年度：受診行動指導対象者 526人 薬剤併用禁忌対象者 299人)

目標：対象者数 前年比10%減少)

●ジェネリック医薬品差額通知事業

ジェネリック医薬品の普及率向上のため、切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者に通知書を送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促します。

37015

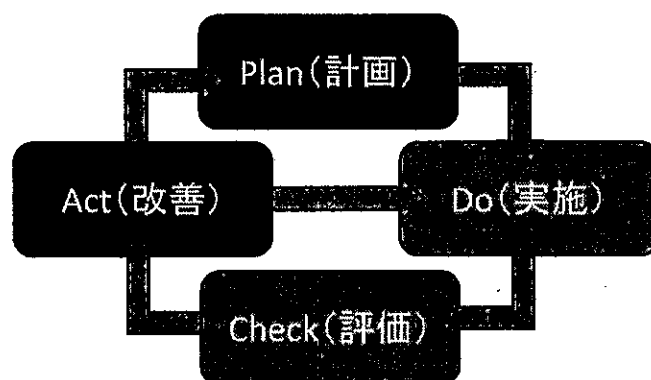
通知対象医薬品や通知対象年齢の見直しを行い、さらなる普及に努めます。

(平成28年度：普及率 73.8% 目標：普及率 85%以上)

5 計画の評価と見直し

本計画の目的及び目標の達成状況は、PDCAサイクルのプロセスに沿って毎年度評価を行います。

また、中間期間等計画期間の途中で、進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。



編集・発行 塩竈市健康福祉部保険年金課

〒985-8501 塩竈市旭町1番1号

電話 022-355-6497 FAX 022-367-3124

計画の全文はこちらで

H P <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/hoken/hokennzigyou/de-taहरुsu2.html>

設置 市役所1階情報公開コーナー、市民図書館、ふれあいエスプ塩竈

「塩竈市観光振興ビジョン」の実現に向け動き出しました！

平成 29 年度、本市では観光によるまちづくりと交流人口の拡大、観光消費額の拡大を図るため、今後の観光の方向性を示す「塩竈市観光振興ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定しました。観光まちづくりを志す若手メンバーとともに話し合いを進めながら具体的な取り組みにつなげていきます。

1. 策定経過

（１）アンケート・ヒアリング調査 9 月～1 月

- ・ 市内に訪れた観光客を対象に、市内 5 地点にて調査員によるアンケート調査及び市内宿泊施設ご協力のもと、宿泊者を対象にアンケート調査を実施（回答数 959 票）
- ・ 市内事業者 16 名及び市外旅行業者等 5 名を対象にアンケート・ヒアリングを実施し、塩竈市の地域資源、ポテンシャルを確認。

（２）策定委員会（市内外の観光関係者、学識経験者等 10 名）

- 10 月 23 日 今後の観光に対する意見交換
- 12 月 21 日 ワークショップや調査の結果を踏まえたビジョン案の検討について
- 1 月 29 日 基本施策・重点施策・アクションプランの検討について
- 3 月 5 日 ビジョン最終案の確認 等

（３）ワークショップ（市内観光拠点エリアや各ジャンルの事業者 30 名）

- 11 月 7 日 塩竈の魅力や課題、20 年後の塩竈など意見交換
- 11 月 27 日 塩竈の目指す姿を「みらい新聞」としてアイデア出し
- 12 月 14 日 「塩竈みらい新聞」作り
- 2 月 10 日 シンポジウムに向けた企画まとめ

（４）ソフト部会（ワークショップ参加者から 20 名）

- 1 月 8 日 ワークショップの意見を基に、今後、具体的に組みたい活動をアクションプランとして整理

（５）パブリックコメント

3 月 8 日～28 日

（６）シンポジウム 3 月 18 日

『千年後につなげる塩竈のこれからの観光』

一般来場者数 100 名

ビジョンの概要についての説明と策定メンバーによるパネルディスカッションを行った。



2. 内 容 別添のとおり

3. 今後について

ビジョン策定時のワークショップ参加者等を中心とした、まちづくりの担い手である若い世代とともに、専門家の意見を聞くなどしながらアクションプランの推進と人材育成に取り組むため、話し合いを進めていきます。

お問合せ
産業環境部観光交流課
人・まち交流係
TEL 022(364)1165



塩竈市観光振興ビジョン (概要版)

千年の歴史と美食にであう港町・塩竈



塩竈市



1 塩竈市観光振興ビジョン

目的

観光振興ビジョンは、観光によって塩竈市にもたらされる経済効果を再認識するとともに、これまでの観光資源を磨き上げ、再評価し、市民、事業者、地域、行政が一体となって観光振興を促進していくための基本方針と行動計画を示すことを目的としています。

本ビジョンでは、鹽竈神社や門前町、市場や浦戸諸島などの観光スポット、三陸塩竈ひがしものや藻塩に代表される塩竈ならではの海産物・お土産品などの観光資源を組み合わせ『アクションプラン』として設定しました。今後の市の観光振興を具体的な取り組みとして共有し、市一丸となって、観光を生産性の高い産業へと育て上げていきます。

期間

期間設定は、2018(平成30)年度を開始年度とし、次期塩竈市長期総合計画(第6次)の前期期間となる2025年度を終了年度とする8年間とします。第5次塩竈市長期総合計画が終了する2020年度に合わせ数値目標を設定し、達成状況を検証しながら、観光振興ビジョンの推進に取り組んでまいります。



2 塩竈市の観光の現状と課題

現状の整理

- ・塩竈市を2017（平成29）年に訪れた観光客は、219万人と推計されます。
- ・塩竈市を訪れた観光客は、鹽竈神社と遊覧船乗降人員の合計でみると、2010（平成22）年の140万人から、2017（平成29）年の131万人へと推移し、7年間で9万人減少と微減傾向にあります。
- ・施設別に観光客数をみると、2017（平成29）年では、鹽竈神社の参拝客1,062,400人と、マリンゲート塩釜の入場者数869,300人で観光客数の約88%を占めています。
- ・マリンゲート塩釜の月別状況を見ると、7月が12.1%と最も多く、次いで8月が10.1%、10月が10.0%とやや平準化しているなど、全体としてピークがないことがわかります。
- ・宿泊者数は2017（平成29）年で53,423人と観光入込客と比べ少なく、月別利用状況も平準化していることから、ビジネス利用者が多く、観光客の利用者は少ないと予想されます。
- ・塩釜水産物仲卸市場では2010（平成22）年にマイ海鮮丼を開始して以降、2017（平成29）年には利用者数を72,698人集めることに成功しました。
- ・塩竈みなと祭の100,000人、ゆめ博の112,106人など、イベントで集客を図っています。

課題

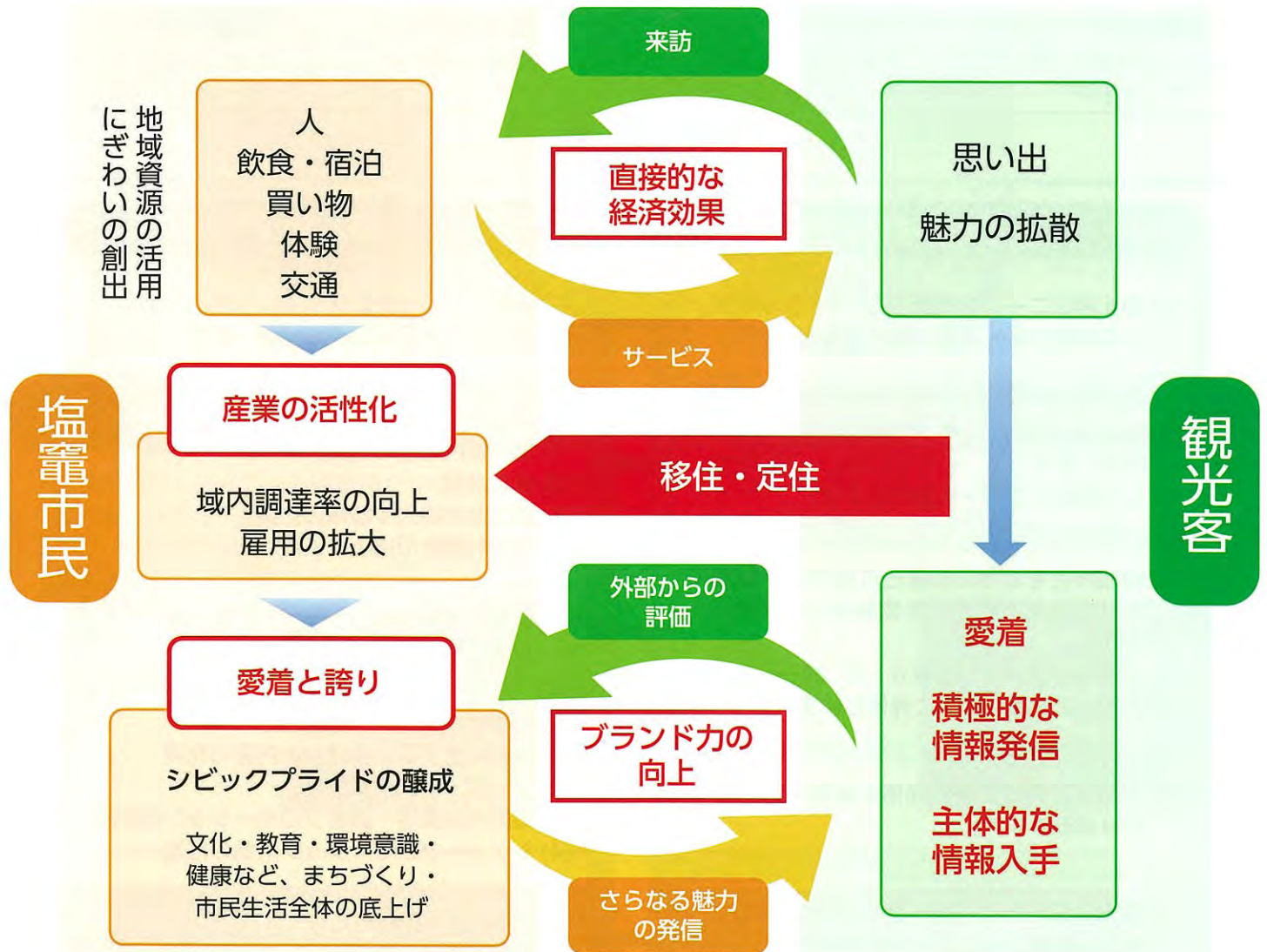
- ・塩竈市の観光客の約半数が県内、残り半数が県外からの訪問となっており、仙台からの日帰り客や東京・千葉・神奈川・埼玉からの宿泊客など、様々なスタイルの旅行者が混在しています。
- ・仙台市を中心とした近隣からの観光客は塩竈市内での周遊地点数が少なく、鹽竈神社や塩釜水産物仲卸市場などの主要拠点を訪問した後、仙台港のアウトレットなどで買い物をして帰るといった行動がみられます。
- ・東京など遠方からの観光客は、仙台に宿泊し、塩竈→松島方面を1日で回るパターンや、塩竈を経由して松島に宿泊するパターンがみられます。
- ・1人あたりの消費額は5,000円を下回っています。宿泊費が少ないことに加え、近隣からの日帰り客の消費が少ないことが、全体平均を下げています。

観光消費額

- ・ 年間の市内観光消費額は総額73.9億円です。内訳は、宿泊費8.8億円(11.9%)、交通費2.4億円(3.2%)、入場料など 15.4億円(20.9%)、飲食20.8億円(28.2%)、お土産26.1億円(35.3%)、その他0.4億円(0.5%)です。
- ・ そのうち寿司、海鮮丼、水産物、水産加工品で35.3億円(47.8%)を占めています。
- ・ 観光消費額73.9億円は、塩竈市の市内総生産 1,609億円(2014(平成26)年度)の4.6%に相当します。

3 観光のもたらす効果

塩竈市の観光を振興することにより、国内外の来訪者が増加し、まちに活気とにぎわいが創出され、多様な地域資源を活用することにより、観光消費が増大し、経済的な効果がもたらされます。



新緑の鹽竈神社



浦戸諸島・朴島の「菜の花畑」

4 観光振興の基本方針と基本施策

塩竈市の多様な主体が協働で観光振興に取り組み、持続可能なまちづくりを推進していくため、塩竈市の『これまでの千年』の歴史を大切にしながら、『これからの千年』をつくっていくことを軸としてコンセプトを設定しました。また、コンセプトを元に観光振興の基本方針を整理し、観光メニューづくり、情報発信・集客・誘客、人材育成・体制づくりなどの基本施策を展開していきます。

コンセプト

千年の歴史と美食にであう港町・塩竈

塩竈神社と門前町で
ご利益を授受

マリングート塩釜で
海の恵みを体験

飲食店・塩釜水産物仲卸市場・
魚市場で美食体験

浦戸諸島で
ゆったり島ぐらし

基本方針

- (1) 観光客のニーズを調査して、マーケットインの発想で観光振興に取り組みます。
- (2) 観光客を県内、近県、首都圏、全国、海外と明確に区分して、それぞれのニーズに対応した観光メニューを開発します。
- (3) 塩竈神社をまちの象徴と位置づけ、塩竈神社と塩竈市の歴史を物語化して発信します。
- (4) 塩竈市のブランドを確立して、統一したイメージで全国・世界に発信します。
- (5) 国内外に向けて情報発信と集客・誘客に取り組みます。
- (6) 観光振興を行政、団体、企業、市民が協力して進めます。
- (7) 宮城県や周辺の市町などと広域的に連携して観光振興に取り組みます。

基本施策

1. 観光メニューづくり

- (1) 観光マーケティングの分析・活用
- (2) ストーリー性のある観光メニューづくり
- (3) 観光案内機能の充実
- (4) 食の開発
- (5) お土産を購入する場の充実
- (6) 交通利便性の向上

- (7) 塩竈市観光振興コンセプトに沿った塩竈ブランドの確立

2. 情報発信・集客・誘客

- (1) 情報発信手段の多様化と内容の充実
- (2) ターゲット別情報発信
- (3) 戦略的な集客・誘客プロモーションの実施
- (4) シティープロモーション活動の推進

3. 人材育成・体制づくり

- (1) 人材の育成
- (2) 体制づくり
- (3) 広域連携

発地別ターゲットへのきめ細やかな観光メニューづくりと情報発信・集客・誘客

ターゲット(1)
宮城県内の観光客

ターゲット(2)
近県の観光客

ターゲット(3)
首都圏の観光客

ターゲット(4)
北海道・関西方面などの
観光客

ターゲット(5)
海外の観光客

5 4つの観光拠点とネットワークづくり

塩竈市内の観光地について、「鹽竈神社と門前町地区」を塩竈市観光の顔となる観光拠点と位置づけ、「ベイエリアとマリングート地区」、「市場地区」、「浦戸諸島」を合わせて、塩竈市の観光振興の軸となる4つの観光拠点とします。

これら4つの地区間の回遊性を高めるために周遊バスや舟運を運行して、ネットワークする仕組みを作ります。



鹽竈神社と門前町地区

- 塩竈市のシンボルである鹽竈神社を中心に、塩竈市の観光の顔となる拠点を「鹽竈神社と門前町」と位置づけ、導入部(JR本塩釜駅)、門前町、鹽竈神社と続く観光ストーリーを明確化
- 『鹽竈神社と門前町地区』としてブランディングを進め、一体感のある取り組みを推進



門前町のまちなみ

ベイエリアとマリングート地区

- マリングート塩釜を千賀の浦のシンボルとして、ベイエリアと共に集客力のある施設に
- 大型バスの団体客を受け入れることのできる収容人数の多い飲食スペースの確保など、松島観光客の昼食需要を取り込む



塩竈みなと祭 御座船「鳳凰丸」

市場地区

- 仲卸市場のマイ海鮮丼、魚市場のテラスなどのコンテンツを活用し、食のまち塩竈を広く発信
- 「おくのほそ道風景地」や日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」に認定された籬ヶ島などを活用し、古から現代までの塩竈の港を体感できるエリアを回遊できる仕組みを作る



塩釜水産物仲卸市場の「マイ海鮮丼」

浦戸諸島

- マリンスポーツ、島歩き、小型船による観光遊覧など、島ならではのコンテンツで誘客
- 島のよさや島のくらしを丸ごと体験してもらう滞在・体験型の体験で、首都圏などの都会の富裕層やインバウンド観光客への誘客を推進



夏の浦戸諸島

6 アクションプラン

4つの観光拠点を軸に、塩竈市の観光振興を具体的に推進してゆき、各観光拠点の魅力を引き出し、集客力を高めるアクションプラン(行動計画)です。

鹽竈神社と門前町地区

鹽竈神社の門前町として、体験、食事、買い物など、さまざまな活動を楽しめるにぎわいのまちづくり

- ①門前町のブランディング(風情づくり)
- ②娯楽性のある門前まちあるきガイドの育成
- ③門前町のイベント開催・門前町の新商品・サービスの開発
- ④観光案内所のインバウンド対応とまちなか観光案内の充実
- ⑤日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力発信

ベイエリアとマリングート地区

観光客が海に触れて、水産物を買ったり、食事を楽しんだりする場づくり

- ①みなとオアシスとしての機能強化
- ②マリングート塩釜と魚市場を結ぶ二次交通の運行
- ③マリングート3階空きスペースの活用検討
- ④マリングート1階空きスペースの活用検討

市場地区

新鮮な水産物を食べて、買って、体験できる場づくり

- ①魚市場テラスの一般開放と利活用
- ②塩釜水産物仲卸市場における市場食堂(横丁)の整備
- ③塩釜水産物仲卸市場のキッチンスタジオを活用した体験プログラムの充実
- ④魚市場の展示スペースの活用

浦戸諸島

浦戸諸島の島時間・島のくらしを体験できるコンテンツ整備

- ①遊休施設を活用した交流施設づくり
- ②地元の事業推進組織づくり
- ③教育旅行の誘致



市内の酒蔵を説明する「蔵ガイド」



どっと祭り



島々を巡る観光遊覧船



浦戸の漁師が使う小型の船「だんべっこ船」で、観光船では見ることができない浦戸の裏側を見学

7 観光振興ビジョンの主な目標設定

塩竈市観光振興ビジョンの主な達成目標です。

現在の第5次塩竈市長期総合計画は2020年度までを示していることから、観光振興ビジョンの中間検証を行う2020年を目標値の設定としました。

分野	項目	目標値 2020年	基準値 2017(H29)年	(単位)	評価方法
集客	観光客入込数	243	219	(万人)	市内各観光地点へ照会
消費	観光消費額(日帰り単価)	4,100	3,920	(円)	観光客アンケート調査 から試算
	観光消費額(市外宿泊単価)	4,600	4,346	(円)	
	観光消費額(市内宿泊単価)	11,900	11,405	(円)	

8 進捗管理

アクションプランの実施と目標の評価のため、PDCAサイクルを取り入れ、以下のように取り組みます。

	概要	実施項目
(1) 観光振興ビジョン推進の評価	観光振興ビジョン推進の進捗状況について、アクションプランの実施時や、第5次長期総合計画の総括及び第6次塩竈市長期総合計画策定時などにおいて、外部有識者やアクションプランの実施関係者などによる定期的な確認と評価を実施します。	・ 各アクションプランの効果測定と評価 ・ 前年度事業の実施状況評価
(2) 各種調査の実施	観光客動態調査や観光客アンケート調査の定期的な実施や、事業実施時などに合わせて各種調査を行い、目標値の達成度を確認します。	・ 観光客動態調査 ・ 観光客アンケート調査 ・ 塩竈ブランドの認知度調査など ・ 仙台・松島復興観光拠点都市圏DMOが実施する広域(6市3町)調査データの利活用 ・ 各事業実施による満足度調査など



門前町の歴史的な建物



塩竈神社の「塩竈桜」



浦戸諸島・初夏の野々島「ラベンダー畑」



浦戸諸島「桂島海水浴場」



塩竈市観光振興ビジョン(概要版)

発行日：平成30年3月

発行：塩竈市

編集：産業環境部観光交流課

電話：022-364-1165 FAX：022-364-1169

E-mail：kankou@city.shiogama.miyagi.jp

小学生が浦戸寒風沢島で田植え体験 ～浦戸小学校～

本市の浦戸小学校の児童が、浦戸寒風沢島の水田において、地域の方々のご指導をいただきながら、田植えを体験します。

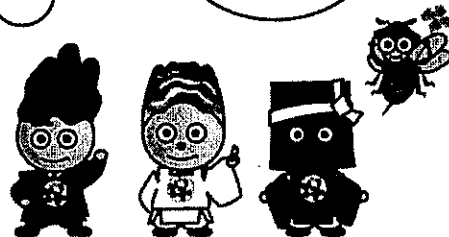
◇ 浦戸小学校 田植え体験 ◇

1. 実施日 平成30年6月4日（月）
2. 場 所 浦戸寒風沢島の水田
3. 参加者 浦戸小学校1年生から6年生まで34名（予定）

※雨天の場合は、翌日に延期します

毎日食べているお米が、どうやって作られるのか、自分たちの手で稲を触り、ぬかるみに足を取られ、泥にまみれて働く農家の人々の苦勞を子どもたち一人ひとりが全身を使って感じてほしいと思います。

今は、手で田植えをするところはほとんどなくなり、みな機械の時代です。また塩竈市には、塩竈神社の神田を除けば、寒風沢にしか田んぼがないので、子どもたちにとって本当に貴重な体験になります。



10月には、大きく育った稲を刈り取る「稲刈り体験」を行います
また、収穫されたお米は市内各学校の給食に提供される予定です

塩竈市立浦戸小中学校は、浦戸諸島の中の野々島にあり、平成27年4月から施設一体型の小中一貫校として、新たなスタートを切っています。

平成17年度から「小規模特認制度」を取り入れ、小中併設校として11年間の準備の後、文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、独自の教科「浦戸科」を設けたり、小中学校の「乗り入れ授業」や小中学生の「ふれあい学習」などを行ったりと、浦戸ならではの小中一貫教育を進めています。

「浦戸科」では、浦戸の恵まれた自然環境や文化、伝統などの地域素材に触れながら、田植え・稲刈り体験をはじめ、海苔すき体験や牡蠣向き体験などの自然体験学習や、地域の自然や歴史を題材とした演劇活動「ACT」など、地域の特性を生かした学習に取り組んでいます。

お問い合わせ 塩竈市教育委員会学校教育課 TEL：365-3216

塩竈市立浦戸小学校 TEL：369-2412

まちのきおくをあつめる、かたる 小野幹 写真展「昭和のしおがま」を開催

塩竈における昭和20～40年代の まちの写真展を開催いたします。

これまで「まちのきおくをあつめる、かたる」企画として、2015年から、市民が撮影した暮らしや町並み、お祭行事、鉄道のある風景などの写真を展示しながら思い出やエピソードを集めてきました。

今回は、東北の人々の暮らしを長年に渡り撮影している、写真家・小野幹氏により撮りおさめられた、塩竈の写真を展示します。

また、関連企画として、写真家小野幹氏ご本人が、塩竈を語るギャラリートークも開催いたします。



1. 写真展開催期間 平成30年5月3日（木祝）～6月3日（日）
2. ギャラリートーク 平成30年5月26日（土）11時～12時
3. 会場 塩竈市杉村惇美術館 企画展示室
4. 展示観覧料 一般200円 高校生100円
※中学生以下無料（写真展＋常設展セット）

■作家プロフィール小野幹（おのみき）

写真家。1931年、岩手県藤沢町生まれ。アサヒカメラ年度賞最高作家賞をはじめ、写真展での入賞多数。雑誌『りらく』の連載などでもお馴染み、「集団仙台」の主要メンバーとして毎年グループ展に出展するなど東北を拠点に活躍している。

□問い合わせ先 塩竈市杉村惇美術館 電話022-362-2555



まちの きおくを あつめる、かたる

小野幹 写真展「昭和のしおがま」 ギャラリートーク



《塩釜、引き込み線》 昭和32年

2018年5月26日(土) 11時～12時 企画展示室

写真家・小野幹氏が昭和20～40年代の塩竈の様子を語ります。

※観覧料でご参加いただけます。(予約不要)

小野幹 (おの みき)

写真家。1931年、岩手県藤沢町生まれ。アサヒカメラ年度賞最高作家賞をはじめ、写真展での入賞多数。雑誌『りらく』の連載などでもお馴染み、「集団仙台」の主要メンバーとして毎年グループ展に出展するなど東北を拠点に活躍している。

小野幹 写真展「昭和のしおがま」

5月3日(木祝)～6月3日(日) 10時～17時 企画展示室1・2 月曜休館

展示観覧料 (写真展 + 常設展セット)

一般 200円 高校生 100円 メンバーシップ無料/団体(20人以上) 一般 160円 高校生 80円

※いずれも中学生以下無料

塩竈市杉村惇美術館

SHIOGAMA SUGIMURA JUN MUSEUM OF ART

主催：塩竈市杉村惇美術館 共催：塩竈市

後援：河北新報社 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局
TBC東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ KHB東日本放送
エフエム仙台 BAYWAVE78.1FM ケーブルテレビマリネット
仙台リビング新聞社



イラスト：遠山敦

こどものための美術館ツアー

たん

てい

じ

む

しょ

こども探偵事務所 9

たん てい ば しゅう

探偵募集!! 指令9「ランプが描かれた作品を調査」

塩竈市杉村惇美術館・学芸員から《こども探偵事務所》へ依頼がありました。

その依頼を解決するため、一緒に調査してくださるこども探偵を募集します!

杉村惇画伯がよく描いたモチーフの一つ「ランプ」について、一年を通してさまざまな角度から調査をしてみます。今回は常設展の作品について、クイズを解きながら鑑賞し、その謎にせまります。

持ち物：鉛筆。消しゴム。なるべく探偵のような黒い服で。

調査日：2018年5月26日(土) 14時～15時00分(受付13時50分)

参加資格：小学生 ※参加費無料【事前申込】

こども探偵事務所とは…

塩竈市杉村惇美術館ボランティア・JUNBI サポーター太田和美さんによる企画「こどものための美術館ツアー」です。子どもたちにとって、美術館が好奇心をくすぐる刺激ある場所になるよう、子どもたちの興味関心を引き出しながら展開していきます。子どもたちの視点で美術館を巡り、作品や対象物を観察、知性や感性に響かせる機会をつくります。

お申し込み・お問い合わせ

〒985-0052 宮城県塩竈市本町8番1号 電話：022-362-2555 FAX：022-794-8873

<http://sugimurajun-museum@shiomo.jp>



塩竈市杉村惇美術館



@SugimuraJ Museum